

## 15) 『断毒論』と種痘

Dandokuron and Vaccination

医の博物館 西巻明彦

Akihiko Nishimaki, *Museum of Medicine and Dentistry*

1789年にエドワード・ジェンナーが発見した牛痘接種法は、我が国においても19世紀急速な普及をみた。日本においては江戸時代鎖国制度がひかれていたが、鎖国そのものはゆるやかなもので、松前口、対馬口、長崎口、琉球口と海外へ4つの門戸が開かれていた。松前口からは中川五郎次がロシアから種痘術を持ち帰り（1811年）、琉球口からはイギリス人バーナード・ジョン・ベッテルハイムが1845年頃琉球で種痘術を行っている。長崎口からは、1849年佐賀藩医榎林宗建の依頼で、蘭館医モーニッケがバタビアから牛痘癰を輸入し、宗建の三男建三郎が善感して種痘に成功している。ジェンナーの牛痘接種法は、1800年代にはすでに中国にまで到達していたが、牛痘法が普及するまでには、半世紀の歳月をまたねばならない。この理由については、小川鼎三氏、石田純郎氏らの論考がある。いずれにしても、牛痘法の伝来は東アジアの視点から見ると近世日本は東アジア文化圏に属していたことが判明する。松本明知氏は「シベリア—松前経路に関しては、わが国が鎖国状態にあったにも拘らず、日本人が外国、つまりシベリアで牛痘術を学んでわが国に伝えたことが特異的である。」と述べている。長崎口に関しては、深瀬泰旦氏がモーニッケがもたらした牛痘癰の普及について、「その技術の実践的な場としてのお玉ヶ池種痘所は、ただたんに牛痘接種という医療技術を実践する施術所としてばかりでなく、この技術を強力な尖兵として蘭学という斬新な学問を普及させる上での確固たる拠点となったのである。この両者を中心としてわが国の近代医学が誕生し、さらには躍進の契機となって、今日の医学、医療の興隆がもたらされたといっても過言ではない」と述べ、近代西洋医学の普及と一体であることが述べられている。

日本における種痘の普及は牛痘法のみではなく、人痘法の普及がある。1746年、李仁山は長崎

においてシナ式人痘接種法を行っている。また緒方春朔は、『医宗金鑑』をもとに筑前上秋月で人痘接種術を行い、1790年2月14日に成功している。この事項は『種痘必順弁』に記録されている。また、この時期、江戸医学館では池田瑞仙が痘科として1797年に着任している。池田流の痘疹治療はその有効性が評判を呼び、富士川游によれば「書肆の池田氏に像するところの唇舌及び面部の図訣を盗み、之を謄写して、鬻ぎて以って利を貪るものあり。草沢の医、其の贋造図訣を得て、深く之を珍藏し、池田の室に入り、戴氏の奥を窺いたり」と称し、其甚しきは遂に池田某を偽証するものあるに至る。」と記している。また人痘法について、前述の深瀬泰旦氏は、天然痘のヨーロッパにおける死亡率は12.5%~50%であり、人痘接種のヨーロッパの死亡率が0.15%~0.25%、日本における人痘接種の死亡率が2~3%であると述べている。19世紀前半、日本において、天然痘の治療法、予防法があったことを物語っており、邵氏によれば人痘法を土台として牛痘法がひろがっていたことを指摘している。

『断毒論』は、橋本伯寿の著で文化11年の出版といわれている。橋本伯寿は、甲斐国市川大門の出身で、天明年間に長崎に遊学し、吉雄流外科を学び、その道中天然痘をさけるためには隔離が重要であることを主張した。この主張を、1772年、市川陣屋と甲府勤番支配役所へ提出している。『断毒論』は、『断毒論』、『翻訳断毒論』、『国字断毒論』の種類があり、『断毒論』は漢文で書かれている。『翻訳断毒論』、『国字断毒論』は、ほぼ同じ書物で、仮名混じり文で書かれており漢文で書かれている『断毒論』は医者むけ、『翻訳断毒論』、『国字断毒論』は庶民向けで、いかに橋本伯寿は庶民への啓蒙をはかろうとしたことがうかがえる。内容は、痘瘡（天然痘）、麻疹が伝染病であること、万病万毒論、生氣と毒気の混和の状態によって病

がおきることを主張している。痘瘡をまぬがれるには、痘瘡の患者と接触しないことが重要であり、種痘を批判し、痘瘡治療が無益であることを主張した。池田家は、予防法としての人痘接種、牛痘接種は終始反対したが池田霧溪と人痘法の二代目緒方春朔とは友好関係にあった。霧溪自身が二代目春朔に、初代春朔の自筆本の供覧を望んでいる。反面、池田家は、橋本伯寿の『断毒論』のすべて

の版木を押収するという強行手段をとり、伯寿を断圧した。これは、漢文体の『断毒論』の中で痘瘡治療を否定したためと考えられる。

以上のことから、19世紀前半日本において、牛痘法の定着はみなかった反面、人痘法による種痘、天然痘の治療法、隔離による予防法が存在していたことが特徴的である。